

特定空家等判定アプリ 提供について

2017 年 1 月 26 日

プラスナレッジ

近藤博次

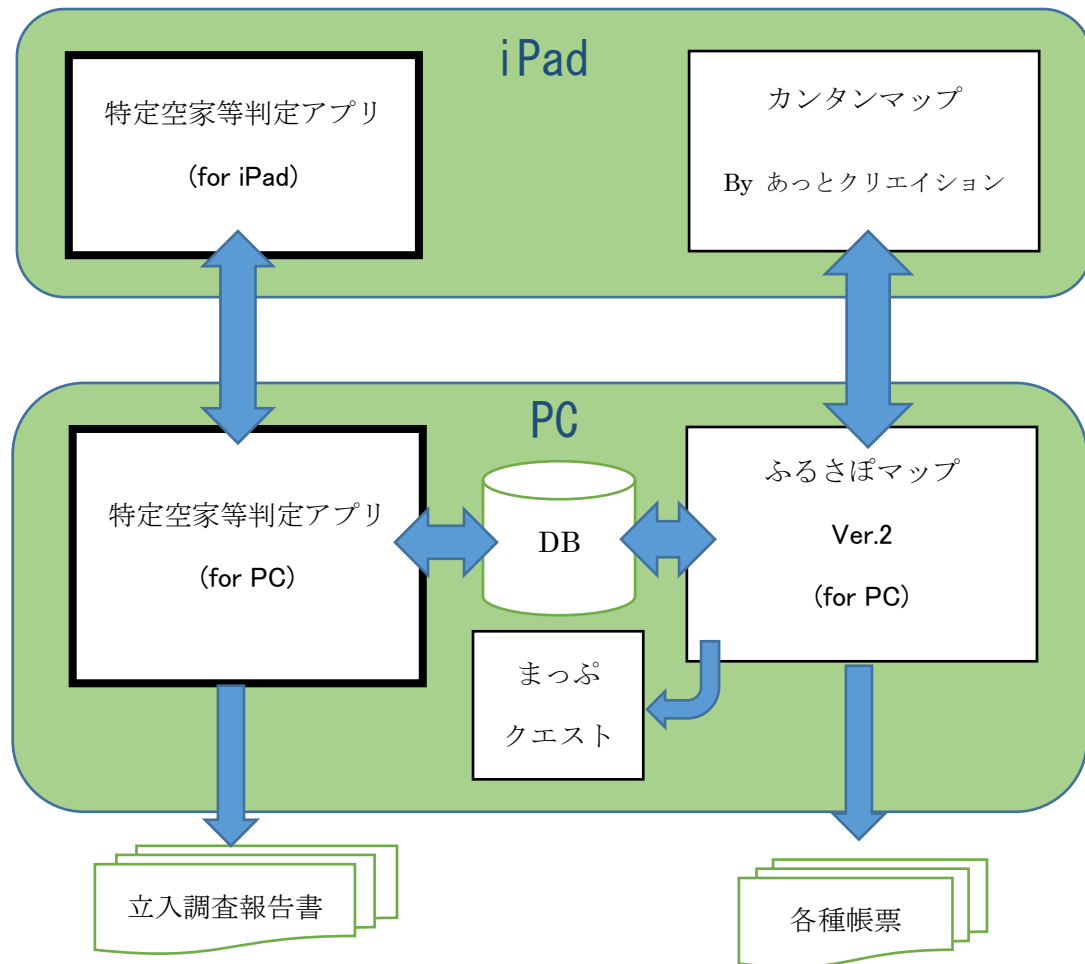
概要

「ふるさぽマップ Ver.2」としては実現されなかった「特定空家等」の判定業務を支援するアプリケーション（＝特定空家等判定アプリ、と呼称します）の、2017 年 2 月末の時点での提供が可能な内容と、それを用いた運用方法について説明します。

最終的に「特定空家等判定アプリ」は、プラスナレッジから提供予定の「ふるさぽマップ Ver.3」（仮称）に組み込んでの統合した運用を予定しますが、2 月末の時点では「ふるさぽマップ Ver.2」と連携して動作するアプリケーションとして運用します。

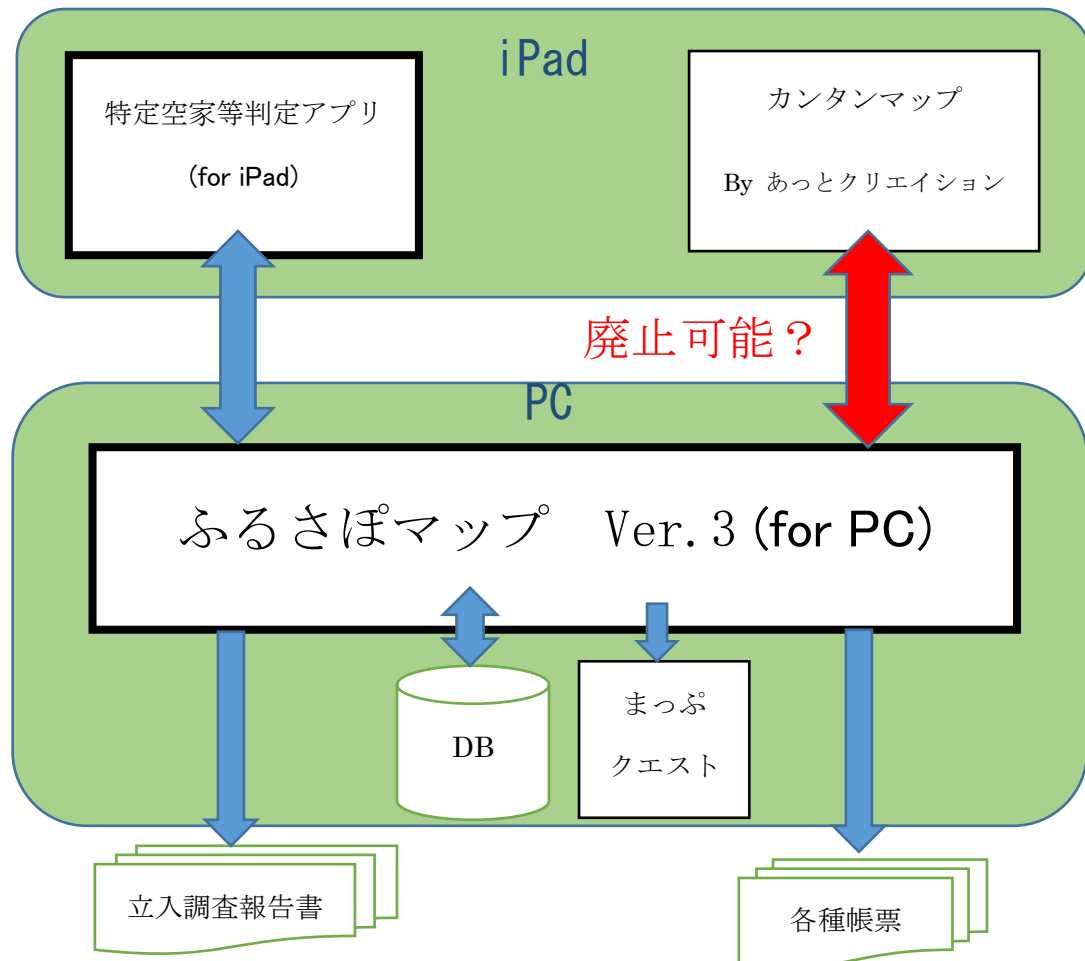
なお、iPad では「あっとクリエイション」製の「カンタンマップ」と連携して動作する別のアプリケーションとなります。

システム構成（2017 年 2 月末）



- ・ 現行の「ふるさぽマップ Ver.2」の機能を利用し、それと連携して機能を提供する。
- ・ iPad 上では、調査対象の空家に関する調査項目のチェックと各種入力を行う。
地図への「ピン」の設定は「カンタンマップ」の機能を利用して行う。
調査項目にピン何番を使用したかの設定は「特定空家等判定アプリ for iPad」で行う。
- ・ PC 上では、iPad で入力した調査項目を取り込み（必要なら修正し）、それに基づいて
「特定空家等の判定に伴う立入調査報告書（立入調査報告書）」を出力する。

システム構成（VER. 3）



- ・ 現行の「ふるさぽマップ Ver.2」を置き換える形で、追加要望もあわせて提供します。
- ・ 調査項目に関する設定・表示に関する機能をあっとクリエイションに対して「かんたんマップ」のカスタムとして作成依頼を行うのは無理があると考えますので、iPad 部分は 2 月末と同等のものの提供を予定しています。
- ・ 「かんたんマップ」相当の機能をプラスナレッジが独自作成するのは無理があるので、あっとクリエイションにライセンス等を依存しない形での「ふるさぽマップ Ver.3」をご希望の場合には「iPad 上での地図表示」の部分を大幅に見直していただく必要があるでしょう。

- ・たとえばあらかじめ調査対象の空家についての拡大地図は「ふるさぽマップ for PC」によって探して特定しておいたうえで「画像」として iPad 上に送ったうえで、現地ではその「画像」に対してピン止めを行い、ピンに調査項目を直接紐づけた入力を行う、というのは提供可能と考えています。

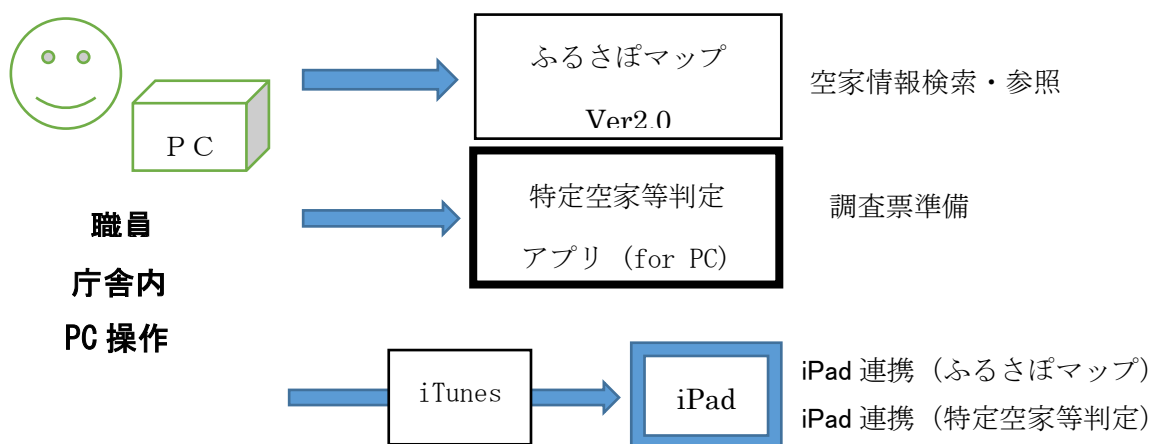
※現地に趣くために必要な「地図」自体は、別途 iPad なり調査員のスマホなりで参照していただければと思います。

ワークフロー（2017 年 2 月末）

特定空家等判定アプリを用いた特定空家等判定作業のワークフローです。

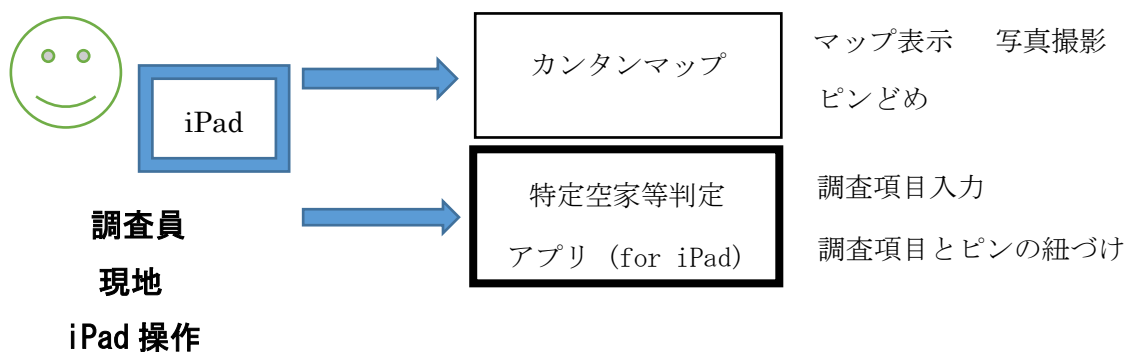
1. 調査対象空家の設定

職員が、特定空家等判定のために訪問する空家を PC で検索して訪問の準備を行います。



2. 実地調査

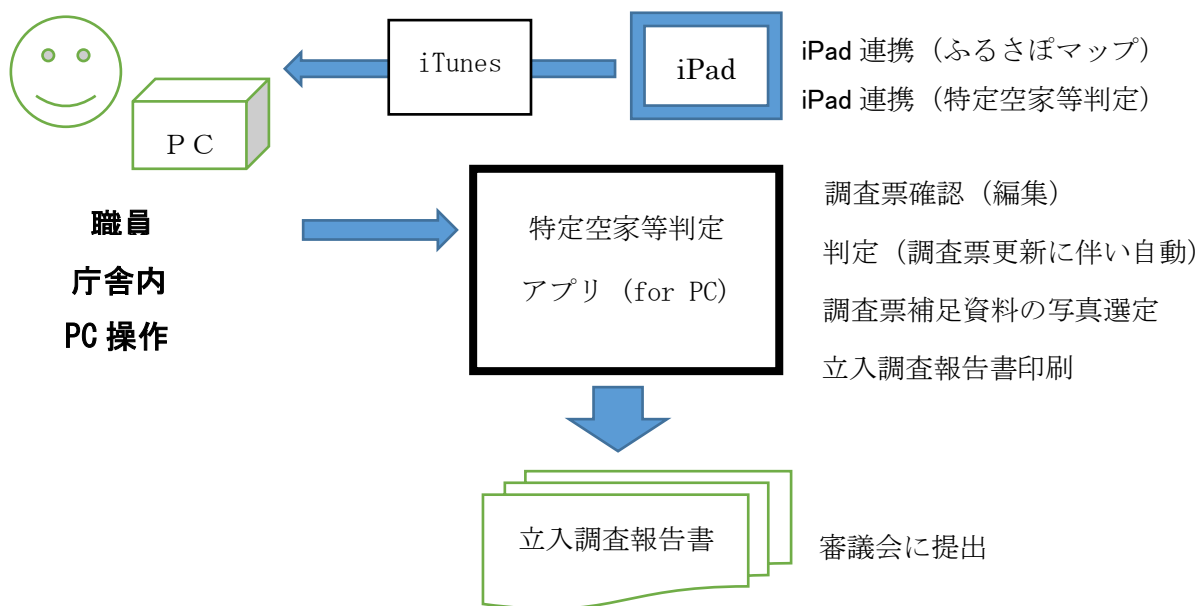
調査員が、空家を訪問して iPad を操作して実施調査を行います



3. 報告書作成

職員が持ち帰った調査結果を取り込み、必要ならば修正を行い、報告書を作成する。

※調査票以外の空家情報が必要な場合は、ふるさぽマップ V2.0 を使用する。



4. 審議会の決定反映

審議会の結論である判定や、結論に至るコメントなどを登録します。

